議題1：広報誌の発行回数について（尾張旭市提出）

資料1

市名		各市の状況							
		1．発行回数及び紙面構成		2．発行回数が月1回の市				3．発行回数が月2回の市
		発行回数（月）	紙面構成	①	②	③	④	検討予定の有無と検討内容
1	名古屋市	1回 （1日号）	タブロイド版　フルカラー　16ページ（7月・10月は20ページ） ・市版　12ページ（7月・10月は16ページ）…市長インタビュー及び関連特集、重要な施策や市民に影響の大きい事業、行催事のお知らせ、各局からのお知らせ、市政広報テレビ・ラジオ番組案内など ・区版　4ページ…区ごとのお知らせ	イ　変更していない	—	—	—	
2	豊橋市	1回 （1日号）	フルカラー　記事量によってページ数変動（28～40ページ） 毎号巻頭特集を掲載するほか、のんほいパーク、公共施設イベント、スポーツ、演劇・コンサート、パパママ、シニア、健康、防災・安全などのカテゴリーページを設けている	ア　変更した	・毎号、読み応えのある巻頭特集を掲載するため ・自治会への配送の負担を軽減するため ・印刷製本費の削減	・予算要求時に変更を決定 ・自治会役員への説明	・デザイン変更による若年層からの高評価（高齢層からの苦情も） ・編集事務の効率化 ・イベント告知などタイミングが早すぎるものがある ・ページ数の増加	
3	岡崎市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号：4色刷　記事量によってページ数変動（16～28ページ） 特集、各種コーナー、各課からのお知らせ等 15日号：2色刷　記事量によってページ数変動（16～28ページ） 各課からのお知らせがメイン					予定あり 月1回発行が可能であるか、コスト面でのメリットなどを含め現在検討中
4	一宮市	1回 （1日号）	フルカラー　平均36ページ	イ　変更していない	—	—	—	
5	瀬戸市	2回 （1日号 ・15日号）	フルカラー　記事量によってページ数変動（20～32ページ） 市政情報、観光情報、まちかどスナップなど…写真やイラストを配置し見やすい紙面構成 生活インフォメーション…市からのお知らせなどを文章で掲載 ※1日号・15日号とも同様です。					検討予定無し 現時点で、発行回数の変更は検討していません。
6	半田市	2回 （1日・15日） （年21回。5月・8月・12月は1日号のみ）	1日号・15日号：2色刷 記事量によってページ量変動（16ページ～36ページ程度） 市からのお知らせなどを掲載	**イ　変更していない**				予定あり 将来的には1号化を考えていきたい。
7	春日井市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号：フルカラー　記事量によってページ数変更(約16ページ) 写真やイラストを多用した特集記事やお知らせ記事などを掲載 15日号：2色刷り　記事量によってページ数変更(16～24ページ) お知らせや市内の催し・講座などを中心に掲載					検討予定無し
8	豊川市	1回 （1日号）	フルカラー　28ページ、または32ページ　A4版 写真やデザイン性などのビジュアルを重視した、見やすく親しみやすい紙面構成。毎号、「特集」「トピックス」「スポーツ」「文化」「図書館」「子育て」「保健」などコンテンツを構築し、内容ごとに分類して掲載	ア　変更した	配布に係る町内会負担削減の要望に対応するため 市ホームページから行政情報を入手する割合が増加するなど、広報媒体（広報紙、ホームページなど）における情報発信の方法を見直す必要が生じたため	H26/4月庁内課題整理・台割作成開始 6月連区長会総会（町内会）説明・議会周知 9月予算編成 1月記者発表 2月広報掲載（市民への周知） 3月発行規則改正 H27/4月リニューアル号発行	メリット：町内会の負担が軽減した・編集作業の効率化を図ることができた デメリット：記事掲載時期の前倒しが必要となる	
9	津島市	1回 （1日号）	4色刷　4ページ、2色刷　30ページ程度（月によって各ページ数に変動あり）	イ　変更していない	—	—	—	

市名		各市の状況						
		1．発行回数及び紙面構成		2．発行回数が月1回の市				3．発行回数が月2回の市
10	碧南市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号、15日号：表紙、裏表紙のみフルカラー、他ページは2色刷。記事数によりページ数は変動するが、平均ページ数は1日号（27ページ）、15日号（24ページ）。市からのお知らせやイベント紹介、表敬訪問などを掲載。					検討予定無し
11	刈谷市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号、15日号ともに2色刷（一部4色刷）。 記事量によって、ページ数変動（H29年度：18～36ページ）。					予定あり 発行回数を月1回とする方向で検討中。具体的な内容は、未定。
12	豊田市	1回 （1日号）	フルカラー　平均40ページ想定 巻頭特集、地域の出来事紹介、活躍する市民や市の魅力を紹介するコーナー、お知らせ・イベント情報など	ア　変更した	より効率的な情報発信を行うとともに、経費削減を図るため。	市民アンケートの実施 関係団体との調整 市民及び庁内への周知	印刷費及び配布費用の削減 発行回数に関する市民からの苦情は無し	
13	安城市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号：2色刷（表紙、裏表紙のみフルカラー） 記事量によってページ数変動（18～28ページ） 市からのお知らせのほか、市民インタビュー等の市民ページを掲載 15日号：2色刷 記事量によってページ数変動（14～22ページ） 市からのお知らせを中心に掲載					予定あり 平成30年度に広報紙による情報発信のあり方について、掲載内容、発行回数等の見直しの検討を予定している。
14	西尾市	2回 （1日号 ・16日号）	1日号：2色刷り。表紙・裏表紙はカラー刷り。記事量によってページ数変動（22～36ページ）。市からのお知らせや特集記事などを掲載 16日号：2色刷り。記事量によってページ数変動（16～26ページ）。市からのお知らせなどを掲載					予定あり 広報紙を町内会での配布から業者等による全戸配布に変更することを検討中。これに伴い、広報紙の発行回数を2回から1回に変更することも検討中。
15	蒲郡市	1回	表紙、裏表紙それぞれ両面計4ページフルカラー、中面2色刷り 記事量によってページ数変動（26～36ページ）	ア　変更した （平成19年）	財務部局からの指示	市民アンケートを実施	メリット：経費節減 デメリット：タイムリーな話題の提供ができなくなる	
16	犬山市	2回 （1日号 ・15日号）	2号とも表紙・裏表紙のみフルカラー、ほかのページは2色刷り ページ数は記事量によって変動（18～32ページ）					予定あり 検討中だが、具体的な検討事項等の洗い出しまでは至っていない。 なお、過去に行った市民向けのアンケート調査での「広報の発行回数」に関する設問では、平成28年度に実施したものでは「月に2回」が55.7%、「月に1回」が40.8%だった。 平成29年度に実施したものでは、「月に2回」が55.4%、「月に1回でページが増えるのはやむを得ない」が20.1%、「月に1回でページ数を減らし行政情報だけにする」が13.0%だった。 ※残りのパーセンテージは「その他」「無回答」 ※設問は総合計画の改訂時や条例策定のための意識調査アンケートの質問項目のひとつとして設定（市民から2000人を無作為抽出し実施）
17	常滑市	1回 （1日号）	2色刷り。記事量によってページ数変動（26～36ページ） 市からのお知らせなどを掲載	イ　変更していない	―	―	―	
18	江南市	1回 （1日号）	2色刷　記事量によってページ数変動（32～58 ページ） 4色カラー刷　表紙及び最終ページ（2ページ） 市からのお知らせや情報提供、各種イベント等の開催についての記事を写真やイラストを使用し掲載	イ　変更していない	―	―	―	
19	小牧市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号・15日号 フルカラー　記事量によってページ数変動（平成29年度平均28.9頁） 市からのお知らせや掲示板など大部分の構成は変わらないが、基本的に1日号には特集を掲載し、15日号にはスポーツや子育て、健康に特化したコーナーを掲載している。					検討予定無し

市名		各市の状況						
		1．発行回数及び紙面構成		2．発行回数が月1回の市				3．発行回数が月2回の市
20	稲沢市	1回 （1日号）	2色刷り（表紙、裏表紙は4色刷り）	ア　変更した	各地区で配布する区長の負担、近隣市町の状況等を考慮して検討したもの。	2年に1回行っている「市政世論調査」で市民の考えを確認した。（1回化に賛成した割合54.0%）	区長の負担を削減することができた。	
21	新城市	1回 （16日号）	フルカラー（H30．6月号から） 記事量によってページ数変動（28～36ページ）	イ　変更していない	—	—	—	
22	東海市	2回 （1日号 ・15日号） （5月・8月・1月は合併号のため1回）	●1日号・15日号共通 表紙・裏表紙：フルカラー その他のページ：2色刷り 記事によってページ数変動（16～40ページ） ●1日号のみ 市民からの原稿（イベント・講座のお知らせ等）					検討予定無し
23	大府市	2回 （1日号 ・15日号） 8月と1月は合併号（1日発行））	1日号：表紙裏表紙は4色刷り、それ以外は2色刷り。特集を掲載。読み物としての位置づけ。 15日号：表紙裏表紙は4色刷り、それ以外は2色刷り。お知らせ版としての位置づけ。					予定あり 平成29年度に市長指示により、8月と1月を合併号に変更した。市長からは月1回発行を検討するよう指示を受けているが、月2回発行を堅持する声もあり、方針は決定していない。
24	知多市	奇数月1回、 偶数月2回の 年18回発行	平成30年4月1日号からリニューアル。 29年度は、年4回だった表紙カラーを毎号に変更。その他のページは単色刷り。紙面構成は、市民の方が登場するページを冒頭に配置する構成に変更。	イ　変更していない	—	—	—	
25	知立市	2回 （1日号 ・16日号）	1日号：表紙、裏表紙はフルカラー、その他ページは2色刷り 応募による市内赤ちゃんを写真で紹介するなど、フルカラーが効果的なコーナーを掲載 16日号：2色刷り 両号ともに市政情報やイベントなどを中心に日程に合わせて掲載。 情報量によりページ数変動。平均22ページ程度。					検討予定無し 市からの情報を事業日程に合わせて効果的にお伝えするには月2回の発行が適当と判断しています。また、回数変更を実施しても情報量は変わらないため、印刷ページ数削減の見込みは低く、印刷費用が大幅に下がることは無いことから、今のところ変更は考えておりません。
26	尾張旭市	議題提出市						
27	高浜市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号：表紙及び裏表紙のみフルカラー、中記事は2色刷 記事量によってページ数は変動するが、20ページ以内を目途に作成している。市からのお知らせや特に伝えたい情報を特集として掲載 15日号：2色刷 記事量によってページ数は変動するが、20ページ以内を目途に作成している。市からのお知らせや特に伝えたい情報を特集として掲載					予定あり 今年度、月1回の発行にするかを検討中。他市の状況や情報発信全体のあり方を考える中で判断したい。

市名		各市の状況						
		1．発行回数及び紙面構成		2．発行回数が月1回の市				3．発行回数が月2回の市
28	岩倉市	1回 （1日号）	最初の4ページ及び最後の4ページがフルカラー。その他のページは2色刷り。総ページ数は毎号変動する（平均40ページ程度）。 （平成30年5月1日号の例） P.1表紙、P.2～P.5特集、P..6目次、P.7～P.14市政通信、P.15公共施設のこれから、P.16・P.17い～わくんの協働のまちづくりコーナー、P.18～P.32情報コーナー、P.33市民相談/分別収集・古紙と古着の日、P.34・355月の保健センター案内、P.365月30日㈬はアダプトプログラムの日です/頭の体操　クロスワードパズル、P.37いわくらしやすい109の理由/簡単‼旬の美味しい野菜レシピ（春の野菜編）、P.38みんなの広場、P.39フォトニュース、P. 40い～わくんの岩倉じまんッ！	ア　変更した	ホームページやメールなど市から市民への情報発信の手段が多様化しているため、即時性に欠ける広報を月2回発行する必要性は低くなったため。また、平成27年10月に広報リニューアルを行った際に、1日号と15日号の差別化を図ったことで、1日号に記事が集約され、情報量に大きな差が出るようになったことも要因となっている。平成28年5月から月1回発行に変更。	・市民アンケート ・市民への広報による周知 ・広報主任者会議での周知	メリット：1号あたりにかけられる時間が多くなったことで、毎号の特集等の内容を充実させることができるようになった。 デメリット：1回発行になったことで、ページ数が増えたため、知りたい情報にたどり着くまでに時間がかかるようになった。また、ページ増により、重量が増え、広報配達員の負担も増えてしまい、配達員を辞めてしまう人も出たため、慢性的に欠員が生じるようになった。	
29	豊明市	1回 （1日号）	表紙・裏表紙、まちの話題2ページ、末尾の見開き2ページの合計6ページのみ4色刷り、その他は2色刷り お知らせ、子育て、保健、文化会館・図書館、相談でコーナー分け 記事量によってページ数変動（30～40ページ、平均36ページ）	イ　変更していない	※17年前（平成13年4月から1日号のみ）に変更 印刷費用の削減、町内会での配布負担・編集負担の軽減を目的			
30	日進市	1回	フルカラー、ページ数は36ページから44ページで記事量によって変動。	ア　変更した	毎号のページ数を増やし、読みやすい広報紙とするため、月1回へ変更。配達業務委託費用の削減も狙った。	平成25年10月号から月1号に変えた。 平成24年度に市民アンケートを実施し、市民の意見を踏まえて実施した。	月1回になったことでの苦情は無いが、国の選挙など、急な記事掲載には対応しずらくなった。	
31	田原市	1回 （1日号）	市のトピックス、フォトニュース、お知らせ、市民や地域、学校からの情報、連載ページなど	ア　変更した	前面リニューアルの際、「より多くの世代が読みたい広報誌」を目指し、「変わった」と市民に認識してもらう手法を検討した中で、発行回数の変更にいたった。	前面リニューアルの業務の一環として実施。	読みやすくなったという市民の声をいただいた。特段のデメリットは感じていない。	
32	愛西市	1回 （1日号）	・28頁固定 ・1～8頁及び21～28頁は、4色カラー刷り ・9～20頁は、2色刷り カラーページを生かし、写真やイラストなどでより見やすい紙面構成に努めている。若い世代にも読んでもらうため、子育てページや全国大会へ出場を果たした児童・生徒のインタビュー記事を掲載している。	イ　変更していない	—	—	—	
33	清須市	1回 （1日号）	表紙（1ページ） 行政ニュース（2ページから11ページ） 夢広場はるひ（12ページから13ページ） 保健だより（14ページから15ページ） 教室・講座（16ページから17ページ） 児童・子育てだより（18ページから19ページ） フォトダイアリー（20ページから21ページ） インフォメーション（22ページから27ページ） 裏表紙（28ページ）	イ　変更していない	—	—	—	
34	北名古屋市	1回 （1日号）	フルカラー（28、32、36ページのいずれかで発行） 前半：特集、トピックス ページの中心：見開きでカレンダー（今月・来月の予定）表示 後半：乳幼児健診・子育て情報、昭和日常博物館・図書館コラム、暮らしの情報、市民記者のページなど で構成	イ　変更していない	—	—	—	
35	弥富市	1回 （1日号）	フルカラー　記事量によってページ数変動（20～28ページ） 市からのお知らせやまちの話題、特集等を掲載。	イ　変更していない	—	—	—	

市名		各市の状況						
		1．発行回数及び紙面構成		2．発行回数が月1回の市				3．発行回数が月2回の市
36	みよし市	2回 （1日号 ・15日号）	1日号・15日号 2色刷、記事量によってページ数変動（20～48ページ） 特集、みんなの広場、まちの話題、お知らせを掲載 年2回フルカラー刷あり					予定あり 発行回数を1回にするか否かについてを検討する予定がある。
37	あま市	1回 （1日号）	17級、2色刷（表紙・裏表紙は4色刷） 記事量によってページ数は変動（平成29年度は平均36ページ）	イ　変更していない	―	―	―	
38	長久手市	1回 （1日号）	色→フルカラー ページ→32ページが基本。記事分量に応じて28ページ、36ページの場合もあり 構成→写真で見る長久手（先月の出来事を写真で紹介）、特集、シニア、子育て、スポーツ、文化の家、お知らせコーナー	イ　変更していない	―	―	―	